

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)



平成28年1月27日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日立ハイテクノロジーズ

コード番号 8036 URL <http://www.hitachi-hightech.com/jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 宮崎 正啓

問合せ先責任者(役職名) CSR・コーポレートコミュニケーション部長(氏名) 横井 芳人 (TEL) 03-3504-5138

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	459,148	2.7	37,031	8.6	35,988	9.2	27,296	12.8	27,290	13.0	26,810	△10.9
27年3月期第3四半期	446,945	—	34,099	—	32,951	—	24,202	—	24,158	—	30,077	—

本ページ以外では「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を「親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しております。

27年3月期第3四半期の売上収益及び営業利益ならびに税引前利益の金額は、継続事業のみを表示しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	198.43	—
27年3月期第3四半期	175.65	—

「基本的1株当たり四半期利益」「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

本ページ以外では「基本的1株当たり四半期利益」「希薄化後1株当たり四半期利益」を「基本的1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」

「希薄化後1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益」と表示しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	531,228	321,624	321,317	60.5
27年3月期	536,705	301,696	301,378	56.2

本ページ以外では、「親会社の所有者に帰属する持分」を「親会社株主持分」と表示しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	3.3	45,000	△0.4	33,400	7.4	242.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	137,738,730株	27年3月期	137,738,730株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	208,147株	27年3月期	206,223株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	137,531,631株	27年3月期3Q	137,534,267株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 4
(3) 追加情報	P. 4
3. 要約四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益459,148百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)比2.7%増)、EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)35,705百万円(前年同期比9.4%増)、税引前四半期利益35,988百万円(前年同期比9.2%増)、親会社株主に帰属する四半期利益27,290百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

②セグメント別の概況

電子デバイスシステム

プロセス製造装置では、一部の主要顧客向けの販売が減少しました。

評価装置では、前年同期と比べ顧客の投資が回復基調にあることから、測長SEMの販売が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は75,501百万円(前年同期比2.3%増)、EBITは9,983百万円(前年同期比23.6%減)となりました。

ファインテックシステム

社会インフラ検査では、鉄道各社の積極的な投資により鉄道関連検測装置が増加しました。

産業インフラでは、既存顧客からの改造案件等サービス事業の取り込みにより増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は9,211百万円(前年同期比45.2%増)、EBITは93百万円(前年同期比132.4%増)となりました。

科学・医用システム

科学システム(電子顕微鏡・科学機器)では、新製品の拡販や海外向け販売が堅調に推移したため増加しました。

バイオ・メディカルでは、先進国及び中国を中心としたアジア市場で堅調に推移したため増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は127,300百万円(前年同期比6.2%増)、EBITは20,478百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

産業・ITシステム

産業ソリューションでは、太陽光EPC案件の立ち上げや、計装システムの販売拡大により増加しました。

ICTソリューションでは、車載用ハードディスクドライブが堅調に推移したものの、携帯電話事業の終息により大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は55,750百万円(前年同期比2.3%減)、EBITは185百万円改善し427百万円の損失(前年同期は612百万円の損失)となりました。

先端産業部材

自動車・輸送機器関連部材では、メキシコ向けビジネスの立ち上がりに加え、米国を中心に堅調に推移したことにより大幅に増加しました。

機能化学品その他では、資源価格低迷の影響により大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上収益は195,501百万円(前年同期比1.1%増)、EBITは3,088百万円(前年同期比82.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より4,659百万円増加し、158,601百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動に関するキャッシュ・フロー)

営業活動に関するキャッシュ・フローは、四半期利益が増加しましたが、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行したこと等による退職給付に係る負債の減少、及び法人所得税の支払が増加したこと等により、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同期)に比べ5,391百万円減少し、5,741百万円の収入となりました。

(投資活動に関するキャッシュ・フロー)

投資活動に関するキャッシュ・フローは、定期預金及び預け金の預入の減少、及び有価証券及びその他の金融資産の売却及び償還の増加等により、前年同期に比べ5,557百万円増加し、6,503百万円の収入となりました。

以上により、営業活動に関するキャッシュ・フローと投資活動に関するキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、前年同期に比べ167百万円増加し、12,243百万円の収入となりました。

(財務活動に関するキャッシュ・フロー)

財務活動に関するキャッシュ・フローは、配当金の支払が増加したこと等により、前年同期に比べ1,575百万円支出が増加し、7,074百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日本では総じて個人消費や設備投資が底堅く推移していますが、足元の株安・円高傾向による影響が懸念されます。米国においては、雇用環境や個人消費の順調な回復により引き続き堅調な成長維持が期待されます。また欧州は緩やかな回復が見込まれるものの、一部に地政学的リスクなどによる影響も見られます。また中国での経済成長率の伸びの鈍化による世界経済への影響が懸念されます。

当社を取り巻く事業環境は、半導体製造装置市場では、顧客の投資時期変更の動きがあるものの、市場全体としては回復傾向にあります。ファインテックシステム関連市場は、社会インフラ検査及び産業インフラにおいて設備投資が活発化すると期待されます。科学・医用システム関連市場は、科学システムにおいては海外向けの需要の増加が期待され、バイオ・メディカルにおいては市場全体は堅調に推移することが期待されるものの、中国では市場環境の変化が懸念されます。産業・ITシステム及び先端産業部材関連市場では、自動車関連の設備及び部材が堅調に推移することが予想されます。

以上により、通期の連結業績予想は、売上収益640,000百万円(前年同期比3.3%増)、税引前利益45,000百万円(前年同期比0.4%減)、親会社株主に帰属する当期利益33,400百万円(前年同期比7.4%増)としております。

なお、通期の連結業績予想は、業績動向及び今後の見通しを踏まえ、前回予想を次の通り修正しております。

平成28年3月期連結業績予想の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上収益	税引前利益	親会社株主に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 640,000	百万円 42,500	百万円 32,400	円 銭 235.58
今回修正予想(B)	640,000	45,000	33,400	242.86
増減額(B-A)	—	2,500	1,000	—
増減率(%)	—	5.9	3.1	—
(参考)前期連結実績 (平成27年3月期)	619,632	45,189	31,093	226.08

今後とも、ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざすとともに、最先端・最前線の事業創造企業としてお客様視点に立ち、顧客及び市場のニーズにスピーディーに対応し、業績予想の達成をめざしてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(退職給付制度の移行)

当社及び一部の国内子会社は、2015年10月1日に確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行しました。本移行に伴い、第3四半期連結会計期間においてその他の収益3,799百万円を計上しております。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	153,942	158,601
営業債権	136,586	131,072
有価証券及びその他の金融資産	21,629	6,125
棚卸資産	90,709	98,007
未収法人所得税	938	260
その他の流動資産	4,344	8,152
小計	408,148	402,215
売却目的で保有する資産	269	768
流動資産合計	408,417	402,983
非流動資産		
有形固定資産	71,665	71,244
無形資産	13,271	12,368
持分法で会計処理されている投資	314	385
営業債権	503	917
有価証券及びその他の金融資産	15,011	16,569
繰延税金資産	24,454	24,083
その他の非流動資産	3,070	2,680
非流動資産合計	128,289	128,245
資産合計	536,705	531,228

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業債務	121,637	107,023
その他の金融負債	14,294	18,155
未払法人所得税	8,205	1,314
未払費用	22,198	15,468
前受金	18,431	26,121
引当金	2,102	1,884
その他の流動負債	1,347	1,161
流動負債合計	188,214	171,127
非流動負債		
その他の金融負債	196	9,553
退職給付に係る負債	43,972	26,494
引当金	1,778	1,685
繰延税金負債	135	106
その他の非流動負債	714	641
非流動負債合計	46,795	38,478
負債合計	235,009	209,604
資本の部		
親会社株主持分		
資本金	7,938	7,938
資本剰余金	35,662	35,662
利益剰余金	239,553	259,230
その他の包括利益累計額	18,567	18,836
自己株式	△343	△349
親会社株主持分合計	301,378	321,317
非支配持分	319	306
資本合計	301,696	321,624
負債及び資本合計	536,705	531,228

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
売上収益	446,945	459,148
売上原価	△348,614	△356,934
売上総利益	98,332	102,214
販売費及び一般管理費	△64,142	△69,331
その他の収益	336	4,657
その他の費用	△426	△509
営業利益	34,099	37,031
金融収益	196	289
金融費用	△1,647	△1,670
持分法による投資損益	△8	54
受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益	32,640	35,705
受取利息	340	320
支払利息	△29	△37
継続事業税引前四半期利益	32,951	35,988
法人所得税費用	△7,871	△8,692
継続事業四半期利益	25,080	27,296
非継続事業四半期損失	△878	—
四半期利益	24,202	27,296
四半期利益の帰属：		
親会社株主持分		
継続事業	25,036	27,290
非継続事業	△878	—
合計	24,158	27,290
非支配持分	44	5
合計	24,202	27,296
1株当たり親会社株主に帰属する四半期利益又は 四半期損失：		
基本的及び希薄化後1株当たり親会社株主に 帰属する四半期利益又は四半期損失(円)		
継続事業	182.03	198.43
非継続事業	△6.38	—
合計	175.65	198.43

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期利益	24,202	27,296
その他の包括利益		
純損益に組み替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動額	1,085	773
確定給付制度の再測定	—	△1,195
純損益に組み替えられない項目合計	1,085	△422
純損益に組み替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,476	△724
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動額	△686	661
純損益に組み替えられる可能性がある項目合計	4,790	△63
その他の包括利益合計	5,875	△485
四半期包括利益	30,077	26,810
四半期包括利益の帰属：		
親会社株主持分	29,983	26,823
非支配持分	95	△12
合計	30,077	26,810

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益累計額		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の換算差額
2014年4月1日	7,938	35,662	213,799	5,690	4,813	3,496
四半期利益			24,158			
その他の包括利益				1,085		5,425
四半期包括利益	—	—	24,158	1,085	—	5,425
自己株式の取得		△0				
自己株式の処分		0				
配当金			△5,501			
非支配持分の取得及び処分						
利益剰余金への振替			2	△2		
所有者との取引額合計	—	0	△5,499	△2	—	—
2014年12月31日	7,938	35,662	232,458	6,773	4,813	8,922

(単位:百万円)

	その他の包括利益累計額		自己株式	親会社株主持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	その他の包括利益累計額合計				
2014年4月1日	△368	13,631	△334	270,696	204	270,900
四半期利益		—		24,158	44	24,202
その他の包括利益	△686	5,824		5,824	51	5,875
四半期包括利益	△686	5,824	—	29,983	95	30,077
自己株式の取得		—	△7	△7		△7
自己株式の処分		—	0	0		0
配当金		—		△5,501		△5,501
非支配持分の取得及び処分		—		—	70	70
利益剰余金への振替		△2		—		—
所有者との取引額合計	—	△2	△7	△5,508	70	△5,438
2014年12月31日	△1,054	19,453	△341	295,170	369	295,539

当第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の包括利益累計額		
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動額	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の換算差額
2015年4月1日	7,938	35,662	239,553	7,133	4,570	7,501
四半期利益			27,290			
その他の包括利益				773	△1,195	△706
四半期包括利益	—	—	27,290	773	△1,195	△706
自己株式の取得		△0				
自己株式の処分						
配当金			△6,877			
非支配持分の取得及び処分						
利益剰余金への振替			△736	△32	768	
所有者との取引額合計	—	△0	△7,613	△32	768	—
2015年12月31日	7,938	35,662	259,230	7,874	4,143	6,795

(単位:百万円)

	その他の包括利益累計額		自己株式	親会社株主持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	その他の包括利益累計額合計				
2015年4月1日	△636	18,567	△343	301,378	319	301,696
四半期利益		—		27,290	5	27,296
その他の包括利益	661	△468		△468	△18	△485
四半期包括利益	661	△468	—	26,823	△12	26,810
自己株式の取得		—	△6	△6		△6
自己株式の処分		—		—		—
配当金		—		△6,877		△6,877
非支配持分の取得及び処分		—		—		—
利益剰余金への振替		736		—		—
所有者との取引額合計	—	736	△6	△6,883	—	△6,883
2015年12月31日	24	18,836	△349	321,317	306	321,624

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年12月31日)
営業活動に関するキャッシュ・フロー		
四半期利益	24,202	27,296
四半期利益から営業活動に関する キャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び無形資産償却費	7,796	7,861
減損損失	653	40
法人所得税費用	7,537	8,692
持分法による投資損益	8	△54
受取利息	△340	△320
受取配当金	△186	△266
支払利息	29	37
有形固定資産、無形資産の売却等損益	303	△37
営業債権の増減	7,281	5,134
棚卸資産の増減	△13,674	△7,511
営業債務の増減	△2,734	△14,117
前受金の増減	△1,281	7,695
退職給付に係る負債の増減	130	△3,140
その他	△7,440	△10,907
小計	22,285	20,404
利息の受取	353	317
配当金の受取	186	266
利息の支払	△28	△34
法人所得税の支払	△11,904	△15,473
法人所得税の還付	238	261
営業活動に関するキャッシュ・フロー	11,131	5,741
投資活動に関するキャッシュ・フロー		
定期預金及び預け金の預入	△4,600	△97
定期預金及び預け金の払戻	14,000	12,500
有形固定資産の取得	△7,763	△6,977
無形資産の取得	△1,868	△1,374
有形固定資産の売却	72	295
無形資産の売却	0	2
有価証券及びその他の金融資産の取得	△346	△902
有価証券及びその他の金融資産の売却及び償還	1,365	2,412
事業譲渡	—	641
その他	86	2
投資活動に関するキャッシュ・フロー	945	6,503

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
財務活動に関するキャッシュ・フロー		
非支配持分からの払込	70	—
配当金の支払	△5,499	△6,870
非支配持分株主への配当金の支払	—	△40
自己株式の取得	△7	△6
その他	△63	△158
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△5,499	△7,074
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響		
現金及び現金同等物の増減	3,062	△510
現金及び現金同等物の増減	9,640	4,659
現金及び現金同等物の期首残高	132,923	153,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	142,563	158,601

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの収益及び損益

当社グループの継続事業からの報告セグメントの収益及び損益は以下の通りであります。セグメント損益は、EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前四半期利益)であります。

前第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	電子 デバイス システム	ファイ ンテック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	73,670	6,118	118,976	54,771	191,849	445,385	446	1,114	446,945
セグメント間の 売上収益	156	224	836	2,270	1,581	5,067	746	△5,814	—
計	73,826	6,342	119,812	57,041	193,430	450,452	1,193	△4,699	446,945
セグメント損益									
EBIT	13,069	40	19,631	△612	1,695	33,823	△1,562	379	32,640
受取利息(注2)	—	—	202	—	—	202	—	139	340
支払利息(注2)	△160	△22	—	△90	△203	△476	△4	451	△29
税引前四半期利益	12,908	18	19,832	△702	1,492	33,549	△1,566	968	32,951

(注1)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

(注2)各事業セグメントにおける受取利息及び支払利息は社内借入金に対する利子であり、社内管理上、純額後の金額にて認識しているため、純額後の金額に応じて受取利息もしくは支払利息として表示しております。また、受取利息及び支払利息の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない本社に係る金額及び社内借入金に対する利子の戻入額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	電子 デバイス システム	ファイ ンテック システム	科学・医用 システム	産業・IT システム	先端産業 部材	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	75,259	8,707	126,636	53,695	193,702	457,999	735	415	459,148
セグメント間の 売上収益	243	504	664	2,054	1,799	5,264	688	△5,952	—
計	75,501	9,211	127,300	55,750	195,501	463,263	1,423	△5,537	459,148
セグメント損益									
EBIT	9,983	93	20,478	△427	3,088	33,216	△1,001	3,490	35,705
受取利息(注2)	—	—	217	—	—	217	—	103	320
支払利息(注2)	△218	△28	—	△69	△246	△561	△5	528	△37
税引前四半期利益	9,766	66	20,694	△496	2,842	32,872	△1,005	4,121	35,988

(注1)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、間接補助事業等を含んでおります。

(注2)各事業セグメントにおける受取利息及び支払利息は社内借入金に対する利子であり、社内管理上、純額後の金額にて認識しているため、純額後の金額に応じて受取利息もしくは支払利息として表示しております。また、受取利息及び支払利息の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない本社に係る金額及び社内借入金に対する利子の戻入額であります。

②報告セグメントの損益合計額と要約四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

セグメント損益(EBIT)	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
報告セグメント計	33,823	33,216
「その他」の区分の損益	△1,562	△1,001
セグメント間取引消去	△6	△43
その他の調整額(注)	385	3,533
要約四半期連結損益計算書計上額	32,640	35,705

(注)その他の調整額は、主に事業セグメントに帰属しない全社損益であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期利益に対する実効税率を永久差異・税額控除・評価性引当金等を考慮して合理的に見積り、税引前四半期利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。